

# 三重県経済の動向

No.500

HRI(株)百五総合研究所 地域調査部（谷ノ上）

**【現在の景気】**：緩やかに回復している。個人消費は持ち直し、生産は回復、雇用は高水準で推移。

**【当面の見通し】**：緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。

## 個人消費：持ち直し

3月の百貨店・スーパー販売額（既存店、速報）は前年比1.2%増で3か月ぶりの増加。3月のコンビニ販売額（速報）は0.6%増で5か月連続の増加。家電大型専門店販売額（速報）は7.0%増で4か月連続の増加。ドラッグストア販売額（速報）は6.9%増で48か月連続の増加。4月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は2.3%増で2か月ぶりの増加、普通（+12.8%）が2か月ぶりの増加、小型（△12.7%）が2か月連続の減少、軽（+5.9%）が6か月ぶりの増加。3月の家計消費支出（津市・二人以上の世帯）は、11.1%増で3か月連続の増加、3か月後方移動平均は4か月ぶりの増加。

## 住宅建築：足踏み

3月の住宅着工戸数は、前年比34.3%増で3か月ぶりの増加。3か月後方移動平均は0.1%減で2か月連続の微減。持家（+18.6%）は2か月連続の増加、貸家（+110.2%）は3か月ぶりの増加となったが、分譲（△19.5%）が2か月ぶりの減少。床面積（+22.7%）は3か月ぶりの増加。

## 設備投資：持ち直し

3月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比70.2%増加と2か月ぶりの増加。4月の貨物自動車販売（普通+小型+軽）は、前年比16.1%増と8か月連続の増加、3か月後方移動平均でも8か月連続の増加。普通貨物（+2.7%）は8か月連続の増加、小型貨物（+2.8%）は4か月連続の増加、軽貨物（+27.3%）は10か月連続の増加。

## 公共工事：横ばい

3月の公共工事請負件数は前年比12.2%減で2か月連続の減少。請負額は35.3%減で3か月ぶりの減少、2018年度累計では8.4%の増加。請負額減少の要因は、昨年度に、中部地方整備局（国）において「津松阪港津地区堤防」関連、中日本高速道路(株)（独立行政法人等）において「新名神高速道路」関連、県土整備部（県）において「宮川流域下水道」、「一般県道湯の山温泉線」、環境生活部（県）において「環境修復事業（桑名市五反田）」関連の大型工事があった影響等による。

## 輸出入：上向き

3月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比21.9%増で4か月連続の増加。3か月後方移動平均では10か月連続の増加。主要港である四日市港は10.7%増で4か月連続の増加。品目別では半導体等電子部品、科学光学機器、原動機などが減少したものの、石油製品、荷役機械、有機化合物などが増加。県内2港の通関輸入額は、2.9%増と2か月ぶりの増加。

## 生産活動：回復基調続く

2月の鉱工業生産指数（季調済、2015年=100）は109.1で前月比5.5%低下し3か月連続の低下となったが、原指数は105.3で前年比3.1%上昇と17か月連続の上昇。業種別に前月比をみると、金属製品工業、食料品工業、汎用機械工業などは上昇したが、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、化学工業などが低下。在庫指数（季調済）は86.5で、前月比0.3と微増。

## 雇用情勢：高水準続く

3月の有効求人倍率（季調済）は1.71倍で、前月比0.02ポイント低下。70か月連続で1倍を超え、全国を上回って推移。新規求人倍率（季調済）は2.31倍で、前月比0.18ポイント低下。新規求人数（原数値）を産業別にみると、建設業、宿泊業、飲食サービス業などは増加したものの、食料品、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具などの製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）などが減少。正社員有効求人倍率（原数値）は1.17倍（前年差+0.06ポイント）で前年を上回って推移し、21か月連続で1倍を超えた。

## （トピックス）

- ・ 株村田製作所は、5月9日、子会社の株伊勢村田製作所（津市）の新生産棟の竣工（8日）を発表。投資額（建物のみ）約40億円。ポリマーフィルムを用いた電子材料など高機能ポリマー製品等を開発・製造。スマートフォンなどに使用される電子部品などの需要増への対応のため、生産能力増大と将来に向けた開発機能拡充への体制を構築。
- ・ 三重県が5月11日に発表した、GW期間（平成31年4月27日～令和元年5月6日、10日間）の県内主要観光施設（21施設）への観光入込客数（延数）は約300万人。前年（平成30年4月28日～5月6日、9日間）に比べ42.4%の増加となり、1日当たりでも28.2%の増加となった。とくに改元により伊勢神宮への注目度が高まり、参拝者数は前年の2倍超に。また、熊野古道世界遺産登録15周年も重なった東紀州地域では、道の駅「熊野・花の窟」（お綱茶屋）（1日当たり+75.3%）や「鬼ヶ城センター」（+26.0%）などが増加し、地域全体で41.5%の増加となった。